令和元年度の経営状況について

1. 収益的収支状況(4月~6月)

(単位:千円、%)

1,194,325 676,121 373,085 145,118	(A) 1,111,539 593,761 385,889	増減額 ▲ 82,785 ▲ 82,360	増減率 ▲ 6.9% ▲ 12.2%	(B) 1,291,816 754,709	(A)/(B) 86.0%
676,121 373,085	593,761	▲ 82,360			
373,085	·		▲ 12.2%	754 709	
	385,889			751,705	78.7%
145,118		+ 12,803	+ 3.4%	395,850	97.5%
	131,890	▲ 13,228	▲ 9.1%	141,257	93.4%
1,446,294	1,465,730	+ 19,436	+ 1.3%	1,641,357	89.3%
713,085	729,780	+ 16,695	+ 2.3%	856,465	85.2%
298,793	291,141	▲ 7,652	▲ 2.6%	296,970	98.0%
298,527	308,167	+ 9,640	+ 3.2%	349,406	88.2%
129,652	131,135	+ 1,483	+ 1.1%	129,299	101.4%
6,236	5,507	▲ 729	▲ 11.7%	9,217	59.7%
▲ 251,969	▲ 354,191	▲ 102,222	+ 40.6%	▲ 349,542	101.3%
156,909	189,632	+ 32,723	+ 20.9%	193,791	97.9%
27,953	31,492	+ 3,539	+ 12.7%	32,899	95.7%
▲ 123,013	▲ 196,050	▲ 73,037	+ 59.4%	▲ 188,650	103.9%
122	731	+ 609	+ 500.8%	966	75.7%
24	3,024	+ 3,000	+ 12,245.2%	6,246	48.4%
▲ 122,916	▲ 198,344	▲ 75,428	+ 61.4%	▲ 193,930	102.3%
	1,446,294 713,085 298,793 298,527 129,652 6,236 ▲ 251,969 27,953 ▲ 123,013 122 24 ▲ 122,916	1,446,294 1,465,730 713,085 729,780 298,793 291,141 298,527 308,167 129,652 131,135 6,236 5,507 ▲ 251,969 ▲ 354,191 156,909 189,632 27,953 31,492 ▲ 123,013 ▲ 196,050 122 731 24 3,024 ▲ 122,916 ▲ 198,344	1,446,294 1,465,730 + 19,436 713,085 729,780 + 16,695 298,793 291,141 ▲ 7,652 298,527 308,167 + 9,640 129,652 131,135 + 1,483 6,236 5,507 ▲ 729 ▲ 251,969 ▲ 354,191 ▲ 102,222 156,909 189,632 + 32,723 27,953 31,492 + 3,539 ▲ 123,013 ▲ 196,050 ▲ 73,037 122 731 + 609 24 3,024 + 3,000 ▲ 122,916 ▲ 198,344 ▲ 75,428	1,446,294 1,465,730 + 19,436 + 1.3% 713,085 729,780 + 16,695 + 2.3% 298,793 291,141 ▲ 7,652 ▲ 2.6% 298,527 308,167 + 9,640 + 3.2% 129,652 131,135 + 1,483 + 1.1% 6,236 5,507 ▲ 729 ▲ 11.7% ▲ 251,969 ▲ 354,191 ▲ 102,222 + 40.6% 156,909 189,632 + 32,723 + 20.9% 27,953 31,492 + 3,539 + 12.7% ▲ 123,013 ▲ 196,050 ▲ 73,037 + 59.4% 122 731 + 609 + 500.8% 24 3,024 + 3,000 + 12,245.2% ▲ 122,916 ▲ 198,344 ▲ 75,428 + 61.4%	1,446,294 1,465,730 + 19,436 + 1.3% 1,641,357 713,085 729,780 + 16,695 + 2.3% 856,465 298,793 291,141 ▲ 7,652 ▲ 2.6% 296,970 298,527 308,167 + 9,640 + 3.2% 349,406 129,652 131,135 + 1,483 + 1.1% 129,299 6,236 5,507 ▲ 729 ▲ 11.7% 9,217 ▲ 251,969 ▲ 354,191 ▲ 102,222 + 40.6% ▲ 349,542 156,909 189,632 + 32,723 + 20.9% 193,791 27,953 31,492 + 3,539 + 12.7% 32,899 ▲ 123,013 ▲ 196,050 ▲ 73,037 + 59.4% ▲ 188,650 122 731 + 609 + 500.8% 966 24 3,024 + 3,000 + 12,245.2% 6,246

[※] 現金支出を伴わない費用(減価償却費など)や一般会計繰入金など12等分で算出している項目がある。

<4月~6月の収益的収支の主な増減項目と内訳>

○前年同期と比較して

医業収益 ▲ 82,785 千円

入院収益 ▲ 82,360 千円 ⇒ うち、整形外科▲52,442千円、外科▲35,833千円、眼科▲9,837千円

内科+22,035千円

【分析及び対策①】

医業費用 + 19,436 千円

給与費 + 16,695 千円 ⇒ うち、報酬+15,869千円

6月分の増加が大きい(前年度比で+13,317千円)

材料費 ▲ 7,652 千円 ⇒ うち、診療材料費▲10,441千円、薬品費+2,263千円

経費 + 9,640 千円 ⇒ うち、委託料+15,740千円、修繕費▲6,819千円

委託料は労務単価の上昇などによるもの

^{※ 「}目標値」は、経営改革プランに掲げている年間の目標値を6月末までの経過日数(91日)で除して算出したもの(以下同じ)。

2. 業務実績(4月~6月)

項目		H30	R1	前年度との比較		目標値 (経営改革プラン)	達成率
			(A)	増減値	増減率	(B)	(A)/(B)
入院患者数	(人)	12,379	10,904	▲ 1,475	▲ 11.9%	13,559	80.4%
1日平均患者数	(人)	136.0	119.8	▲ 16.2	▲ 11.9%	149	80.4%
新規入院患者数	(人)	1,158	983	▲ 175	▲ 15.1%	1,144	85.9%
平均在院日数	(日)	10.6	11.1	+ 0.5	+ 4.7%	11.9	93.3%
診療単価	(円)	54,618	54,452	▲ 166	▲ 0.3%	55,662	97.8%
外来患者数	(人)	27,738	25,245	▲ 2,493	▲ 9.0%	27,300	92.5%
1日平均患者数	(人)	447.4	427.9	▲ 19.5	▲ 4.4%	450	95.1%
診療単価	(円)	13,450	15,286	+ 1,836	+ 13.7%	14,500	105.4%
救急患者受け入れ件数	(人)	261	260	1	▲ 0.4%	388	67.0%
救急応需率	(%)	79.6	73.2	▲ 6.4	▲ 8.0%	90.0	81.3%
紹介率	(%)	66.0	72.0	+ 6.0	+ 9.1%	65.0	110.8%
紹介患者数	(人)	2,631	2,622	A 9	▲ 0.3%	2,511	104.4%
逆紹介率	(%)	77.5	82.8	+ 5.3	+ 6.8%	70.0	118.3%
逆紹介患者数	(人)	2,442	2,407	▲ 35	▲ 1.4%	2,263	106.4%

<4月~6月の業務実績の主な増減項目と内訳 >

○前年同期と比較して

入院患者数 ▲ 1,475 人 ⇒ うち、整形外科▲1,056人、外科▲421人、

新規入院患者数 ▲ 175 人 ⇒ うち、外科▲53人、眼科▲46人、整形外科▲27人 (前年度に比べ、在院日数は増加⇒入院収益減少の原因)

【分析及び対策①】

外来患者数 ▲ 2,493 人 ⇒ うち、内科▲1,312人、整形外科▲479人、外科▲369人、眼科▲363人

(内科は、外来患者数は減少するも外来収益は増加=診療単価の増加)

救急患者受け入れ件数 ▲ 1 人 ⇒救急要請件数: 328件(H30) ⇒355件(R1) +27件

救急応需率 ▲ 6.4 % (救急要請件数は増加しているが、十分受け入れられていない。)

【分析及び対策②】

紹介患者数 ▲ 9 人 ⇒ うち、整形外科▲45人、内科▲28人、外科▲17人、耳鼻科▲9人

小児科+43人、放射線科+42人

【分析及び対策③】

3. 分析及び対策

毎年6月に実施している上半期の各診療科とのヒアリングを 5月に前倒しをして、現状分析と対策を検討

【①入院収益の減少】

■状況(4月~6月の前年度との差)

- 1/1/	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , ,				
診療科目		入院収益				
		H 3 0	R 1	増減額(値)		
(1) 外	(1) 外科					
	入院収益	137,048千円	101,215千円	▲ 35,833千円		
	新規入院患者数	135人	82人	▲ 53人		
(2) 整	形外科					
	入院収益	97,095千円	44,653千円	▲ 52,442千円		
	新規入院患者数	75人	48人	▲ 27人		
(3) 眼科						
	入院収益	25,237千円	15,400千円	▲ 9,837千円		
	新規入院患者数	111人	65人	▲ 46人		

■分析及び対策

(1) 外科

《収益減の主な要因》

・消化器手術の減(H30:73件、R1:55件)

《分析》

・紹介患者数の減少(H30:202件、R1:185件)

《対策》

【紹介患者の減少③】へ

(2) 整形外科

《収益減の主な要因》

・手術件数の減(H30:60件、R1:38件)

《分析》

・医師の長期休暇による影響(3名→2名)

《対策》

・医局への医師派遣要請の継続

(3) 眼科

《収益減の主な要因》

・白内障手術の減(H30:112件、R1:67件)

《分析》

・医師の異動(交代)による影響(1名→1名)

《対策》

・老朽化した医療機器(手術関連)の更新

【②救急患者の減少】

■状況(4月~6月の前年度との差)

項目	H 3 0	R 1	増減値
・救急搬送受け入れ件数	261人	260人	▲ 1人
・応需率	79.6%	73.2%	▲ 6.4%

■分析及び対策

《分析》

- ・救急輪番日においては、救急搬送患者を受け入れているが、 輪番日以外の日には受入体制が十分でない。
- ・救急搬送患者の約40%は入院につながっている。 救急搬送患者の増加=入院患者の増加

《対策》

・救急体制の見直し (参考)

救急の体制 (概要)

種類	主な業務	時間帯	
・管理当直	・病棟患者への対応	・24時間365日の体制	
・救急対応 (輪番)	・救急搬送患者の受入	・輪番日の夜間	
救急対応(独自)	・診療所からの患者受入	・平日21時まで、土曜日午前	

※輪番日…小児科2次救急(月及び火)、外科1次救急(金及び第1・3・5月)、

外科・内科2次救急(第1及び最終を除く金)

【③紹介患者数の減少】

■状況(4月~6月の前年度との差)

項目	H 3 0	R 1	増減値
・紹介患者数	2,631人	2,622人	▲ 9人
・紹介率	77.5%	82.8%	5.3%

■分析及び対策

《分析》

- ·紹介患者数は微減だが、紹介率は増加 ⇒ ::紹介状のない初診患者の減
- ・地域の診療所の認識
- ⇒ 間もなく県立西宮病院と統合するとの認識が持たれていた。 統合新病院での連携についての情報不足

《対策》

・地域診療所訪問の強化(訪問件数の増加と統合に係る情報の伝達)『継続』

診療所の医師と中央病院の医師との顔の見える関係の構築

⇒ 紹介患者の更なる獲得(紹介患者の約20%は入院へ)

『新たな取組》

県立西宮病院との統合に関する正しい情報の伝達(至急) 統合はおよそ6~7年先の予定であること。 統合後も中央病院の機能は原則新病院に引き継がれること。

統合新病院でも連携は継続されること。 県立西宮病院との統合に向けた進捗状況の報告(今後継続)

安心して患者を紹介いただけるための情報提供

4. 病院全体としての取組

第1四半期での課題に対する主な取組の内容はお示ししたとおりです。

5月以降、病院事業管理者からは、各部門のリーダーに対して個別に取組について指示するとともに、病院全体としての取組強化を図るため、管理職職員全員に対して、現状の認識と各医療現場での 更なる取組を要請しました。

7月には、患者数が減少する夏場を迎え、院長からも管理職職員に対し、以下の3点について、 取組の徹底を喚起しました。

- ・地域診療所訪問を強化し、件数の増加(分析及び対策③)
- ・救急体制の見直し(分析及び対策②)
- ・経費の節減のさらなる推進

材料費については、全国の同規模公立病院の平均仕入価格で購入できるよう価格交渉を 現在進めているが、今後は同等品で安価な診療材料がある場合には切替について積極的に 努めていく。

(その他、今年度重点的に取り組んでいる内容)

- 診療報酬加算、機能評価係数のさらなる獲得
 - ◆既に取得した加算
 - ・地域医療支援病院(年間約3.000万円の増収)
 - ・急性期看護補助体制加算1 25対1 (年間約900万円の増収)
 - ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ◆今後取得を目指している加算
 - ・認知症ケア加算
- 各診療科の目標達成に向けた定期的な進捗管理
 - ・診療科ヒアリングにおいて、各科が設けた収益等目標への取組について進捗管理を 定期的(3ケ月)に実施し、目標に対する意識及び取組を促進していきます。